

markdown cheat sheet

- [markdown cheat sheet](#)
 - [Format Text - テキストの装飾](#)
 - [Header - 見出し](#)
 - [Emphasis - 強調](#)
 - [Strikethrough - 打消し線](#)
 - [Details - 折りたたみ](#)
 - [Lists - リスト](#)
 - [Disc型](#)
 - [Decimal型](#)
 - [Definition型](#)
 - [Checkbox型](#)
 - [Blockquotes - 引用](#)
 - [Horizontal rules - 水平線](#)
 - [Links - リンク](#)
 - [Images - 画像埋め込み](#)
 - [テーブル記法](#)
 - [数式](#)
 - [コード](#)
 - [その他](#)
 - [参考資料](#)

Format Text - テキストの装飾

Header - 見出し

- # : H1タグ
- ## : H2 タグ
- ##### : H5タグ

#の数でインデントや文字の大きさが決まる。

Emphasis - 強調

か*で囲むとHTMLのemタグになる。こんな感じ

か**で囲むとHTMLのstrongタグになる。要するにbold。こんな感じ

Strikethrough - 打消し線

打消し戦を使うには~~で囲む。こんな感じ

Details - 折りたたみ

追加情報としたい内容をdetailsタグで囲む。そして、要約として表示したい文章をsummaryタグで記載する。

折りたたんだ部分でMarkdownを使いたい場合は、折りたたまれる部分全体をdivタブで囲む。

▶ ここにたたむ前から表示される文章

Lists - リスト

箇条書きをする

Disc型

- 文頭に「*」「+」「-」のどれかを入れるとDisc型になる
- 記号の次に空白を忘れないように
- リストを挿入するときは、リストの上下に空行がないと正しく表示されないかもしれない

Decimal型

1. 文頭に「数字.」を入れるとDecimal型になる。
2. Markdown上では1. 1. 1.でも行ける。表示では1. 2. 3.となる。
3. 「数字.」の次の空白を忘れずに

Definition型

HTMLのdlタグをそのまま使う。

```
<dl>
  <dt>リンゴ</dt>
  <dd>赤いフルーツ</dd>
  <dt>オレンジ</dt>
  <dd>橙色のフルーツ</dd>
</dl>
```

みたいになると

リンゴ

赤いフルーツ

オレンジ

橙色のフルーツ

こうなる。

加えて、Definition型のリストではMarkdown記法が使えない。例えば

```
<dl>
  <dt>リンゴ</dt>
  <dd>とても**赤い**フルーツ</dd>
</dl>
```

とすると、

リンゴ

とても**赤い**フルーツ

こうなる。

Definition型リスト内では代わりにHTMLタグを使わないといけないので

```
<dl>
  <dt>リンゴ</dt>
  <dd> とても<strong>赤い</strong>フルーツ </dd>
</dl>
```

リンゴ

とても**赤い**フルーツ

こうなる。

Markdown記法とHTMLタグの対応は以下のようにになっている。

修飾	Markdown	HTML
ボールド	****	
イタリック	--	
コード	``	<code></code>
リンク	[text](url)	text

Checkbox型

Disc型の記述の後ろに[]を入れるとチェックボックスができる。チェックが入った状態のボックスを生成するときは[x]にする。前後にスペースがいる

- [] チェック1
- [] チェック2

なぜかできない

Blockquotes - 引用

文頭に > を置くことで引用できる。
複数行の時は改行のたびにこの記号を置く必要がある。
引用の中で他のMarkdownを使うこともできる。

引用の中で引用もできる。

二重引用を解除するには上みたいに一つ置かないといけない
引用自体はおかなくても行けるけど、視認性のために置いたほうがいい
一つ空行を置くことで解除できる。

こんな感じに

Horizontal rules - 水平線

これらは全部水平線になる

```
* * *
***
- - -
----
```

こんな感じの線になる

Links - リンク

- リンク付きテキスト

[リンクテキスト](URL)

これでクリックするとURLに飛ぶテキストが作れる

例 :

Markdown: [Qiita](<http://qiita.com>)

結果: [Qiita](http://qiita.com)

- タイトル付きのリンクを作る

[リンクテキスト](URL "タイトル")

この時文面に出てくるのはリンクテキストで、タイトルはマウスホバーすると表示される。

例 :

Markdown: [Qiita](<http://qiita.com> "Qiita Home")

結果: [Qiita](http://qiita.com)

- 同じURLのリンクを複数設置

[リンクテキスト][名前]

[名前]:URL

これで同じURLへのリンクを複数設置できる

例 :

Markdown:

[ここ][link-1]と[この][link-1]は同じ。

[link-1][]もできる

[link-1]:<http://qiita.com>

結果 :

[ここ][link-1] と [この][link-1] は同じ。

[link-1][] もできる

[link-1]:<http://qiita.com>

なぜかできないけど

Images - 画像埋め込み

2パターンある

- タイトルなしの画像

![代替テキスト](画像のURL)

- タイトルありの画像
 ![代替テキスト](画像のURL "画像のタイトル")

Markdown: ![Qiita](<https://qiita-image-store.s3.amazonaws.com/0/45617/015bd058-7ea0-e6a5-b9cb-36a4fb38e59c.png> "Qiita")

結果:



テーブル記法

```
| Left align | Right align | Center align |
|:-----|:-----:|:-----:|
| This      | This      | This      |
| column    | column    | column    |
| will      | will      | will      |
| be        | be        | be        |
| left      | right     | center    |
| aligned   | aligned   | aligned   |
```

これがこれになる

Left align	Right align	Center align
This	This	This
column	column	column
will	will	will
be	be	be
left	right	center
aligned	aligned	aligned

二段目の「:」の位置で左寄せ右寄せ中央が決まる。

数式

コードブロックに「math」を付けるとTex記法を使って数式をかける。

```
```math
\left(\sum_{k=1}^n a_k b_k \right)^{!!2} \leq
\left(\sum_{k=1}^n a_k^2 \right) \left(\sum_{k=1}^n b_k^2 \right)
```
```

$$\left(\sum_{k=1}^n a_k b_k \right)^{!!2} \leq \left(\sum_{k=1}^n a_k^2 \right) \left(\sum_{k=1}^n b_k^2 \right)$$

2^3 みたいに文中に埋め込むこともできる。すると 2^3 となる。

コード

コードみたいに埋め込むこともできる。

``printf()``みたいにラップすると `printf()` となる。

これでも行ける

ブロックで入れることもできるその場合は``で囲む。

```
```ruby:qiita.rb
puts 'The best way to log and share programmers knowledge.'
```
```

これが

```
puts 'The best way to log and share programmers knowledge.'
```

こうなる。

その他

プレビューで `<p data-line="232" class="sync-line" style="margin:0;"></p>` と表示されることがあるけど、バグ。PDFに変換するとなくなる。

参考資料

- [Markdown記法 チートシート - Qiita](#)
- [Daring Fireball: Markdown Syntax Documentation](#)